

国際セミナー

SBS/AHT事件における 誤診と冤罪

無料
要申込
通訳有

内因性疾患との鑑別に関する アメリカ法医学者からの提言

2024年8月9日(金)

18時～20時

対面・ウェブ併用

日本では、SBS/AHT仮説をめぐる国際的な議論状況が十分に紹介されていません。近時は、内因性の疾患が疑われる三徴候事案が、SBS/AHTと誤診され、冤罪や誤った親子分離につながった事案が多発しています。そこで、SBS/AHT事件で訴追側・弁護側双方から数多くの鑑定を手がけ、法廷証言もしてこられたEvan Matshes医師（法医学者）を米国から講師にお招きしました。アメリカの議論状況をご講演いただくことで、日本での議論状況を活性化し、冤罪や誤った親子分離の防止につなげていきたいと考えています。是非ご参加ください（通訳あり）。

登壇者

エヴァン・マッシュズ（NAAG Forensic、主任法医学病理医）
小保内俊雅（多摩北部医療センター）、笹倉香奈（甲南大学）

対面会場

ビジョンセンター東京八重洲 905号室
〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4
日本橋プラザビル9F

お申し込み/お問合せ

<https://forms.gle/bWw4DvaAjSeVuLj69>



講師

エヴァン・マッシュズ

Dr. EVAN MATSHES

カリフォルニア州NAAG Forensicの主任法医学病理医、カリフォルニア科学医学大学准教授。行政解剖および臨床を担当している。臨床は小児法医学と病理学を主とする。査読論文を30本以上、著書を5冊出版し、世界各地で講演を行う。質の高い法医学病理学サービスが刑事司法制度と公衆衛生制度に貢献すると考えている。

共催：SBS検証プロジェクト 一般財団法人イノセンス・プロジェクト・ジャパン
甲南大学国際交流助成金 龍谷大学矯正・保護総合センター
科研費（基盤研究C）児童虐待事件における医学鑑定に関する横断的研究（代表・徳永光）